

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成30年度事業 点検・評価調書

5-II-7

5-II  
-7

5-II -7	章	世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	地場産業の活性化
	節	I 佐渡金銀山のブランドイメージの確立	事業主体	佐渡連合商工会
	事業(施策)名	7 佐渡産ブランド品開発	関連団体	佐渡市地域振興課
	事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○特産品の開発等により、佐渡産ブランドの価値の向上を図る。		
	【事業内容】	○特産品の開発や既存商品のブラッシュアップに向けて、関係機関が連携して佐渡金銀山ブランドイメージを活用した戦略的な検討を進める。		
30 事業計画と実績	【30年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●過去の開発商品(夫婦岩の油揚げ・佐渡ポン酢)や近年販売のサザエカレー、ブルーベリージャム等の販路拡大に向けた取組を行う。</li> <li>●首都圏佐渡物産展の定期開催とフードメッセinにいがたへの出店による支援事業を実施する。</li> <li>●商品開発セミナー及び販路開拓バイヤーセミナーを各1回開催する。</li> </ul>		
	【30年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ニッポン全国物産展(池袋サンシャインシティ)に出展し、地域資源の販路拡大の取組を行った。</li> <li>●首都圏佐渡物産展(日本橋ブリッジにいがた)の定期開催をするとともに、フードinにいがた(朱鷺メッセ)に出展し、販路拡大等の支援事業を実施した。</li> <li>●「バイヤー対策と販路戦略」と題し、販路開拓・バイヤーセミナーを開催した。</li> </ul>		
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既存商品のブラッシュアップと新商品の開発に向けたセミナー等を継続実施し、佐渡金銀山ブランドがイメージできる戦略が必要である。</li> <li>●佐渡金銀山ブランドイメージ活用をきっかけとした、事業者自身の意識の盛り上がり販路拡大に向けた販売意欲の向上を図る必要がある。</li> </ul>		
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●佐渡金銀山ブランドイメージを活用した商品のブラッシュアップ並びに販売戦略策定に向けたセミナーを継続して開催する。</li> <li>●新商品の開発を進め、共同開発商品のラインアップの充実を図る。</li> <li>●物産展の定期開催と販路開拓に向けた支援の強化を図る。</li> </ul>		
事業評価	【事業の達成度】	[ a ・ <b>b</b> ・ c ]	◆販路拡大に向けた事業に重点を置き、予定した取り組みを実施した。	
	【事業実施の効果】	[ a ・ <b>b</b> ・ c ]	◆「フードメッセinにいがた」では、商談が成立した事業者がいる一方で、商談にたどり着かない事業者もいた。また、「ブリッジにいがた」での物産展も4年目を迎え、一定の「佐渡産品」ファンの獲得はできたものの、まだ「販路拡大」にまで繋がっていない。	
	【総合評価】	[ A ・ <b>B</b> ・ C ]	以上を踏まえ、B評価とした。	

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。